年間授業計画

高等学校 令和7年度（２学年用） 教科　国語　　科目 言語文化

教　科：国語　　科　目：言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A 組～　G 組

教科担当者：（Ａ組：佐久間　）（Ｂ組：　谷合　）（Ｅ組：森田　）（Ｆ組：森田　）（Ｇ組：　森田　）

使用教科書：（ 高等学校　言語文化（数研出版）　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	『児のそら寝』 【知識及び技能】 本文に使われている語句や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文を読み味わい、内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文で学んだ語句や表現を活用して自分の意見を発表できる。	・教材 教科書、ノート、ワークシート、漢字ボックス ・指導事項 ○筆者の主張を正確に理解する。 ○本文に使われている語句や表現の意味を理解する。 ○正確に音読する。 ○重要事項ノートにまとめる。	○	○	○	・本文を読み味わい、内容を理解する。 ・本文中の語句の意味を正確に理解している。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	『検非違使忠明』 【知識及び技能】 本文に使われている語句や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文を読み味わい、内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文で学んだ語句や表現を活用して自分の意見を発表できる。	・教材 教科書、ノート、ワークシート、漢字ボックス ・指導事項 ○筆者の主張を正確に理解する。 ○本文に使われている語句や表現の意味を理解する。 ○正確に音読する。 ○重要事項ノートにまとめる。	○	○	○	・本文を読み味わい、内容を理解する。 ・本文中の語句の意味を正確に理解している。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
2学期	・芥川龍之介 『羅生門』 【知識及び技能】 本文に使われている語句や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の道を切り開いた自身の体験談から筆者の仕事に対する考え方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文で学んだ語句や表現を活用して自分の意見を発表できる。	・教材 教科書、ノート、ワークシート、漢字ボックス ・指導事項 ○筆者の主張を正確に理解する。 ○本文に使われている語句や表現の意味を理解する。 ○正確に音読する。 ○重要事項ノートにまとめる。	○	○	○	・本文の内容を読み味わい、言葉にできる。 ・本文中の語句の意味を正確に理解している。 ・本文中の語句を利用して作文することができる。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	・三浦しをん 『舟を編む』 【知識及び技能】 本文に使われている語句や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「美しさ」を知ることが心の世界の広がりを保証することであるという主張を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文で学んだ語句や表現を活用して自分の意見を発表できる。	・教材 教科書、ノート、ワークシート、漢字ボックス ・指導事項 ○筆者の主張を正確に理解する。 ○本文に使われている語句や表現の意味を理解する。 ○正確に音読する。 ○重要事項ノートにまとめる。	○	○	○	・本文の内容を読み味わい、言葉にできる。 ・本文中の語句の意味を正確に理解している。 ・本文中の語句を利用して作文することができる。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
3学期	『狐借虎威』 【知識及び技能】 漢文の基本的な読み方を修得する。また、使われている語句や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容を理解し、何が読み取れるかを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について深く考え、言葉にすることができる。	・教材 教科書、ノート、ワークシート、漢字ボックス ・指導事項 ○筆者の主張を正確に理解する。 ○本文に使われている語句や表現の意味を理解する。 ○正確に音読する。 ○重要事項ノートにまとめる。	○	○	○	・漢文の基本的な読み方を修得している。 ・本文中の語句の意味を理解している。 ・本文の内容について考えたことを言葉にできる。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1

令和7年度　年間授業計画

都立多摩工科高等学校

教科	国語	科目	国語演習（入門）	単位数	2
対象学年・組	2学年選択				
教科担任	森田　淳				
教科書・副教材	国語必携ライトパーフェクト演習「尚文出版」				

1．目標

① 国語科として将来を見据え「書く力」と「漢字の基礎学力」を習得し、就職や進学に活用できる能力と態度を育てる。
② 面接等の対策学習も通して、生徒の第一志望とする就職、進学先に内定・合格できるようにする。

2．学習内容と学習上の留意点

学期	月	単元	学習の内容・留意点	予定時数
1学期	4	・漢字の読み書き、ことわざ ・言葉に変える	・絵を言葉で説明し、わかりやすい表現や伝え方を工夫する。 ・他者の立場を考えて、表現する姿勢を身につける。	4
	5	・漢字の読み書き、ことわざ ・原稿用紙の使い方、作文	・テーマをもとに作文を書き、原稿用紙の使い方について、自身が正確な知識を持ち、実践できているかを確認する。	8
	6 7	・漢字の読み書き、ことわざ ・スピーチ・プレゼンテーション	・聞き手の共感・理解・納得を得るために、内容や表現方法に様々な工夫があることを知る。 ・プレゼンテーションで使用する資料をPowerPointで作成する。	12
	1学期予定授業時数			24
2学期	9	・漢字の読み書き、ことわざ .・ビブリオバトル	・本の魅力を自分の言葉で表現する。 ・相互の発表を聞き、評価する。	8
	10	・漢字の読み書き、ことわざ ・文章表現の基礎	・漢字の読み書きやことわざを学び、語彙を豊かにする。 ・便せんの選び方や、宛先の書き方など、手紙を送る際の基本的な知識を理解する。	8
	11	・漢字の読み書き、ことわざ ・敬語表現	・敬語表現について学び、これから必要な一般常識を身に付けさせる。	8
	12	・漢字の読み書き、ことわざ ・書き言葉と話し言葉	・漢字の読み書きやことわざを学び、語彙を豊かにする。 ・書き言葉と話し言葉の違いを理解し、段落構成を意識させた記入法を指導する。	4
	2学期予定授業時数			28
3学期	1	・漢字の読み書き、ことわざ ・面接練習	・発声練習や所作、しゃべり方等を実践練習を通して、練習を行う。	6
	2 3	一般常識問題、就職試験対応問題、小論文指導、	・自分の希望する進路に合わせたテーマ・課題に従って、具体的に記述練習することで就職試験に備えた力を身につけさせる。	12
	3学期予定授業時数			18
年間授業時数合計				70

3．評価の観点及び方法

（1）定期考査
（2）授業態度 … ① 発言　② 参加　③ 出席状況
（3）提出物
（4）小テスト

令和7年度　年間授業計画

都立多摩工科高等学校

教科	社会科（地歴）	科目	地理総合	単位数	2
対象学年・組	2学年A組・B組・E組・F組・G組				
教科担任	前川　信雄				
教科書・副教材	高等学校　新地理総合　（帝国書院） 標準高等地図　（帝国書院）				

1．目標

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培う。

2．学習内容と学習上の留意点

学期	月	単元	学習の内容・留意点	予定時数
1学期	4	地球上の現象と地球上の位置 経度の違いと時差	緯度と経度　時差のしくみ	6
	5	球面と平面の世界 国家の領域と国境	球面でとらえる世界　地図でおさえる世界 国家の領域	6
	6	日本の領域と領土問題 結びつきを強める現代世界	さまざまな国境　日本の領土問題 国と国との結びつき　地域連合	7
	7	拡大する世界の貿易 世界の交通・通信	貿易によって結びつく世界 世界の交通・通信	6
	1学期予定授業時数			25
2学期	9	東南アジアの自然環境 東南アジアの生活・文化	季節風の影響 東南アジアの稲作、商品作物	6
	10	東南アジアの工業の発展 東南アジアの経済の発展	モノカルチャー経済からの脱却 ASEANの役割	6
	11	南アジアの生活・文化 南アジアの産業の発展	ヒンドゥー教の人々の生活 成長するIT産業	7
	12	中央・西アジアの生活・文化 アフリカの生活・文化	乾燥地域の自然と人々の生活　イスラム教と人々の生活　アフリカの自然環境	6
	2学期予定授業時数			25
3学期	1	ヨーロッパの生活・文化 ヨーロッパの工業と産業の発展	ヨーロッパの民族・宗教・言語　自然環境と農業 工業の発展	7
	2	ヨーロッパ統合とEUの課題 アングロアメリカの生活・文化	欧州連合の課題 多民族国家アメリカ合衆国	7
	3	ラテンアメリカの生活・文化	ラテンアメリカの自然と人々の生活	6
	3学期予定授業時数			20
年間授業時数合計				70

3．評価の観点及び方法

①授業態度　:疑問や問題に対して、積極的に発言したか。
②課題作業:課題プリントにしっかりと取り組んだか。
③ノート:講義をきちんと聞き、整理することができたか。
④提出物　　⑤定期考査

年間授業計画

高等学校 令和７年度（２学年用） 教科　地理歴史　科目　教養歴史

教　科：　地理歴史　　科　目：　教養歴史　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　Ａ・Ｂ・Ｅ組選択

教科担当者：　　（Ａ・Ｂ・Ｅ組選択：南山）

使用教科書：（　　）

教科　地理歴史　の目標：

【知識及び技能】　現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　地理や歴史にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それを基に議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、わが国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　教養歴史　の目標：　世界遺産や人物に対する歴史的な見方・考え方を働かせ、社会的事象と人間の生き方に関する諸課題を探究する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての基本的な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
諸地域世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開について理解するとともに、調査や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	世界遺産や歴史上の人物に関わる諸事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、考察したことを効果的に説明したり、それを基に対話できる力を育む。	世界遺産の保全や伝達に主体的に参画しようとする態度や歴史上の人物から得られた見識を自身の社会生活に生かそうとする態度を育むとともに、自国や他国の文化を尊重することへの自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	「日本とアジアの世界遺産に関する探究」 【知識及び技能】 日本とアジアの世界遺産に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集する。 【思考力、判断力、表現力等】 収集した情報を探究テーマに即して意味づけ考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有する。 【学びに向かう力、人間性等】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・自作プリント教材 ・視聴覚教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 日本とアジアの世界遺産に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集している。 【思考・判断・表現】 収集できた情報を探究テーマに即して意味づけ多面的・多角的に考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有している。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	14
	「古代史における重要人物と出来事に関する探究」 【知識及び技能】 古代史における重要人物と出来事に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集する。 【思考力、判断力、表現力等】 収集した情報を探究テーマに即して意味づけ考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有する。 【学びに向かう力、人間性等】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・自作プリント教材 ・視聴覚教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 古代史における重要人物と出来事に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集している。 【思考・判断・表現】 収集できた情報を探究テーマに即して意味づけ多面的・多角的に考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有している。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

2学期	「日本とヨーロッパの世界遺産に関する探究」 【知識及び技能】 日本とアジアの世界遺産に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集する。 【思考力、判断力、表現力等】 収集した情報を探究テーマに即して意味づけ考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有する。 【学びに向かう力、人間性等】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・自作プリント教材 ・視聴覚教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 日本とヨーロッパの世界遺産に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集している。 【思考・判断・表現】 収集できた情報を探究テーマに即して意味づけ多面的・多角的に考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有している。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	14
	「中世史における重要人物と出来事に関する探究」 【知識及び技能】 古代史における重要人物と出来事に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集する。 【思考力、判断力、表現力等】 収集した情報を探究テーマに即して意味づけ考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有する。 【学びに向かう力、人間性等】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・自作プリント教材 ・視聴覚教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 中世史における重要人物と出来事に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集している。 【思考・判断・表現】 収集できた情報を探究テーマに即して意味づけ多面的・多角的に考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有している。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3学期	「南北アメリカの世界遺産に関する探究」 【知識及び技能】 日本とアジアの世界遺産に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集する。 【思考力、判断力、表現力等】 収集した情報を探究テーマに即して意味づけ考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有する。 【学びに向かう力、人間性等】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・自作プリント教材 ・視聴覚教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 南北アメリカの世界遺産に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集している。 【思考・判断・表現】 収集できた情報を探究テーマに即して意味づけ多面的・多角的に考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有している。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	6
	「近世史における重要人物と出来事に関する探究」 【知識及び技能】 古代史における重要人物と出来事に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集する。 【思考力、判断力、表現力等】 収集した情報を探究テーマに即して意味づけ考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有する。 【学びに向かう力、人間性等】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・自作プリント教材 ・視聴覚教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 近世史における重要人物と出来事に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集している。 【思考・判断・表現】 収集できた情報を探究テーマに即して意味づけ多面的・多角的に考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有している。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	6 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和７年度（２学年用） 教科　数学　　科目 数学Ⅱ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2　学年　A 組　B 組　E 組　F 組　G 組

教科担当者：加藤木　小山

使用教科書：（ 高校数学Ⅱ・実教出版 ）

教科　数学Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

科目　数学Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
三角関数、指数関数・対数関数、微分法と積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学的な活動を通して，方程式と不等式，２次関数及び図形と計量における数学的な見方や考え方を身につけ，事象を数学的にとらえ，論理的に考えるとともに，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えてる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	三角関数 単位円を使って三角関数の基本的な性質を理解させる。三角比の基本的な性質が三角関数でも成り立つことを認識させる。 三角関数のグラフのもつ周期性や対称性等の特徴に気づき、グラフを書くことが出来るようにさせる。 三角方程式や不等式を解くことができるようにさせる。	・指導事項 ①一般角 ②三角関数 ③三角関数の相互関係 ④三角関数の性質 ⑤三角関数のグラフ	【知識・技能】 ・一般角の概念を認識できる。 ・三角関数の性質や相互関係に関心をもち，図や式を用いて調べようとする。 ・三角関数のグラフについて関心をもち，調べようとする。 【思考・判断・表現】 ・三角関数の周期や相互関係を定義や基本性質を活用して調べることができる。 ・三角関数の性質や相互関係を用いて，一般角の三角関数の値を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・三角関数の性質や辺と角の相互関係に関心をもち，それらを調べようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	指数関数 自然数で定義されていた指数法則が、整数の範囲で使えることを理解させ、計算ができるようにさせる。 　累乗根の意味が理解でき計算ができるようにさせる。 　整数で定義されていた指数法則が、有理数の範囲でも使えることを理解させ、計算ができるようにさせる。 　指数関数のグラフの特徴と性質を認識し、グラフを使って方程式や不等式を解くことができるようにさせる。	・指導事項 ①指数の拡張（１） ②累乗根 ③指数の拡張（２） ④指数関数のグラフ	【知識・技能】 ・拡張された指数の意味や指数法則を用いて，指数計算ができる。 ・指数関数のグラフの増加・減少の特徴を適切に活用できる。 【思考・判断・表現】 ・指数を自然数から，整数や有理数に拡張する必要性と意味を認識し，指数法則や指数関数の特徴を理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・指数を自然数から，整数や有理数に拡張する過程に関心をもち，指数を具体的な事象に活用しようとする。 ・指数関数のグラフに関心をもち，その性質を調べようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	対数関数 対数とは何かを認識し、対数と指数の関係や対数の基本的な性質を理解させる。 対数関数のグラフの特徴と性質を認識し、グラフを使って方程式や不等式を解くことができるようにさせる。 常用対数についての理解を深め、自然数の桁数を、常用対数表を使って求めることができるようにさせる。	・指導事項 ①対数 ②対数の性質 ③対数関数のグラフ ④常用対数	【知識・技能】 ・対数の性質や底の変換公式の活用方法を理解している。 ・大きな数の桁数を調べるなど常用対数を活用する考え方を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・常用対数を活用して，桁数などを求めることができる。 ・対数を含む方程式・不等式を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・指数と対数の関係に関心をもち，対数の基本性質を調べようとする。 ・対数のグラフに関心をもち，その性質や指数関数のグラフとの位置関係を調べようとす	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	剰余の定理と因数定理 剰余の定理を用いて整式をｘ－aでわったときの余りを求めたり、因数定理を用いて因数を求めることができるようにする。	・指導事項 ①剰余の定理と因数定理	剰余の定理と因数定理 【知識・技能】 ・剰余の定理を理解し、それを用いて整式P(ｘ)をｘ－aでわったときの余りを求めることができる。 【思考・判断・表現】				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	微分 ・微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることが出来るようにする。 ・導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解出来るようにできるようにする。	①平均変化率 ②微分係数 ③導関数 ④接戦 ⑤関数の増加・減少 ⑥関数の極大・極小 ⑦関数の最大・最小	・剰余の定理と因数定理の関係を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・剰余の定理と因数定理とを関連づけながら考えようとしている。 微分 【知識・技能】 ・関数の平均変化率を求めることができる。 ・導関数の意味について理解し、導関数を求めることができる。 ・微分係数を用いて、接戦の傾きを求めることができる。 ・導関数を用いて、２次関数や３次関数の値の増減を調べることができる。 ・導関数を用いて、２次関数や３次関数の極大・極小を調べることができる。 【思考・判断・表現】 ・微分係数と直線の方程式を利用して、接戦の方程式を求めることを考察できる。 ・導関数を用いて、３次関数のグラフを書くことができる。 ・導関数を用いて、３次関数の最大値・最小値を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・いろいろな関数の導関数を調べようとしている。 ・いろいろなグラフにおける接戦の傾きや方程式を調べようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		
3学期	積分 ・微分の逆演算としての不定積分を求めることができるようにする。 ・定積分と不定積分の違いを理解し、定積分を求めることができるようにする。 ・定積分を利用して、直線や放物線とｘ軸で囲まれた図形の面積をもとめることができるようにする。 ・２曲線で囲まれた図形の面積を求めることができるようにする。 ・直線と曲線の交点を求め、囲まれた図形の面積を求めることができるようにする。	・指導事項 ①不定積分 ②定積分 ③面積 ④いろいろな図形の面積	【知識・技能】 ・不定積分が微分の逆演算であることを理解できる。 ・定積分の意味を理解し、定積分を求めることができる。 ・定積分を利用して、放物線とx軸とで囲まれた図形の面積を求めることができる。 ・x軸より下にある図形の面積や、２曲線で囲まれた部分の面積を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・条件のついた不定積分を考察できる。 ・定積分の性質を利用して、多項式関数の定積分を求めることができる。 ・定積分を図形的に考察できる。 ・x軸より下にある図形の面積について、グラフとx軸との交点を調べ、定積分を利用して求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・微分の考えをふり返りながら、不定積分を考えようとしている。 ・不定積分をふり返りながら、定積分を考えようとしている。 ・定積分を用いて図形の面積が求められることに関心をもち、いろいろな図形について面積を求めようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		

年間授業計画

高等学校 令和７年度（２学年用） 教科　数学　　科目 数学Ａ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ａ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　必修選択

教科担当者：吉田

使用教科書：（ Standard 数学Ａ・東京書籍　　）

教科　数学　　の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

科目　数学Ａ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質・場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見出し論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見出し、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	場合の数と確率 ・場合の数を求めることができる。 ・順列の意味を理解する。順列の計算をすることができる。 ・組合せの意味を理解する。組合せの考えを組分け等に応用することができる。 ・いろいろな確率を求めることができる。	・指導事項 ・教材	【知識及び技能】 ・数え上げの原理について理解している ・順列及び組合せの意味を理解している ・確率の意味や基本的な法則についての理解している 【思考力・判断力・表現力】 ・場合の数を求める方法を多面的に考察することができる ・確率を求める方法を多面的に考察することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を場合の数と確率の考え方を用いて考察するよさを認識し、問題解決に活用したり、数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている	○	○	○	18
	定期考査			○	○		
	場合の数と確率 ・いろいろな確率を求めることができる。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・独立な試行の意味を理解している ・条件付き確率の意味を理解している 【思考力・判断力・表現力】 ・確率を求める方法を多面的に考察することができる ・事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を場合の数と確率の考え方を用いて考察するよさを認識し、問題解決に活用したり、数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている	○	○	○	12

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	図形の性質 ・比を用いて線分の長さを求めることができる。 ・三角形の外心・内心・重心について理解する。 ・いろいろな辺の長さや比を求めることができる。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・三角形に関する基本的な性質について理解する 【思考力・判断力・表現力】 ・図形の構成要素間の関係や既に学んだ図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見出し、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決に活用したり、数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている				14
	定期考査			○	○		
3学期	図形の性質 ・円に内接する四角形の定理と四角形が円に内接する条件の定理について理解する。 ・方べきの定理について理解する。 ・２つの円の位置関係を理解し、線分の長さを求めることができる。 ・円の外部の点からの接線を作図する方法について考察することができる。 ・空間における２直線・２平面の位置関係やなす角について理解する。 ・三垂線の定理を理解する。	・指導事項 ・教材	【知識及び技能】 ・円に関する基本的な性質について理解する ・空間図形に関する基本的な性質について理解する 【思考力・判断力・表現力】 ・図形の構成要素間の関係や既に学んだ図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見出し、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる ・図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決に活用したり、数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている	○	○	○	14
	定期考査			○	○		合計 58

年間授業計画

高等学校 令和７年度（２学年用） 教科　数学　　科目 数学Ｂ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ｂ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　必修選択

教科担当者：小山

使用教科書：（ Standard 数学B・東京書籍　　）

教科　数学　　の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

科目　数学Ｂ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列・統計的な分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	数列 基本的な数列についての知識を身に付け、処理の方法を学ぶ。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・基本的な数列の概念について理解していること ・等差数列、等比数列、階差数列などの種類を区別し、それぞれの性質を理解していること ・数列の一般項、漸化式、和の公式を理解していること ・数列の問題を解くための基本的な手法を身につけていること 【思考力・判断力・表現力】 ・数列の問題を解くために必要な情報を正確に把握し、必要な計算を適切に行えること ・問題解決に必要な仮説を立て、それを検証する思考力を身につけていること ・自分の考えを正確に言語化し、相手に伝える表現力を持っていること 【主体的に取り組む態度】 ・数学Bの数列に対する興味関心を持ち、授業や課外活動で主体的に学び取ろうとする学びに向かう力を持っていること ・問題に直面しても諦めずに解決するための粘り強さを持っていること ・自己成長や他者への貢献を目指し、自己の人間性を高めていこうとする志向性を持っていること	○	○	○	20
	定期考査			○	○		2
2学期	数列 基本的な数列についての知識を身に付け、処理の方法を学ぶ。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・基本的な数列の概念について理解していること ・等差数列、等比数列、階差数列などの種類を区別し、それぞれの性質を理解していること ・数列の一般項、漸化式、和の公式を理解していること ・数列の問題を解くための基本的な手法を身につけていること 【思考力・判断力・表現力】 ・数列の問題を解くために必要な情報を正確に把握し、必要な計算を適切に行えること ・問題解決に必要な仮説を立て、それを検証する思考力を身につけていること ・自分の考えを正確に言語化し、相手に伝える表現力を持っていること 【主体的に取り組む態度】 ・数学Bの数列に対する興味関心を持ち、授業や課外活動で主体的に学び取ろうとする学びに向かう力を持っていること ・問題に直面しても諦めずに解決するための粘り強さを持っていること ・自己成長や他者への貢献を目指し、自己の人間性を高めていこうとする志向性を持っていること	○	○	○	20
	定期考査			○	○		2

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	統計的な分析	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・基本的な統計的概念について正しく理解していること。 ・標本データの集計や要約統計量を計算できること。 ・母集団についての仮説を立て、適切な検定手法を選択し、検定を行うことができること。 ・回帰分析や相関分析などの応用的な手法を理解し、データの解釈や予測に活用できること。 ・統計ソフトウェアを使いこなし、データの分析や可視化ができること。 【思考力・判断力・表現力】 ・問題解決のために論理的に考えることができること。 ・データを分析し、結果を客観的に評価することができること。 ・結果を分かりやすく報告し、グラフや図表を活用して可視化することができること。 ・統計的な考え方を日常生活や社会問題に応用し、自己表現力を高めることができること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・統計学についての関心や興味を持ち、自己学習を積極的に行っていること。 ・自分の意見や考えを適切に表現し、他者の意見にも敬意を持って対応できること。 ・データや情報を適切に収集し、倫理的な観点から批判的に評価することができること。 ・統計的な手法を使って社会問題について考え、解決に向けた提言を行うことができること。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		
							合計 58

年間授業計画

高等学校 令和7年度（２学年用）教科　　理科　　科目 物理基礎

教　科：理科　　科　目：物理基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A 組～　G 組

教科担当者：（　A組：村上　）（　B組：村上　）（　E組：明瀬　）（　F組：村上　）（　G組：明瀬　）

使用教科書：（ 高校物理基礎（実教出版）　　）

教科　理科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　物理基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物体の運動とさまざまなエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けるとともに、観察や実験に関する基本操作やテータ解析を習得し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けてい	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A　運動の表し方 【知識・技能】 ・基本単位・組立単位の種類や意味、実験における測定について理解する。 ・速度や相対速度、合成速度などの運動の表し方を理解する。 ・直線運動を変位、速度などの運動の表し方を理解する。 【思考・判断・表現】 ・実験器具を正しく使用して速度を測定し、データを解析することができるようになる。 ・ｘ－ｔグラフやｖ－ｔグラフを用いて、運動を表現する方法を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物体の運動について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	・基本単位・組立単位の種類や意味、実験における測定について理解させる。 ・速さと速度の違いについてスカラー量とベクトル量から理解させる。 ・距離、速さ、時間の関係性を理解させ、各物理量を算出させる。 ・相対速度と合成速度を理解させ、算出させる。 ・等速直線運動をｘ－ｔグラフやｖ－ｔグラフで表現させる。	【知識・技能】 ・基本単位・組立単位の種類や意味、実験における測定について求めることができる。 ・速度や相対速度、合成速度を求めることができる。 ・直線運動を変位、速度などの物理量を使って表すことができる。 【思考・判断・表現】 ・実験器具を正しく使用して速度を測定し、データを解析することができる。 ・ｘ－ｔグラフやｖ－ｔグラフを用いて、運動を表現したり読み取ったりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物体の運動について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・提出期限内に内容が十分な提出物を提出している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	【知識・技能】 ・加速度の考え方や求め方を理解する。 ・等加速度運動の式を用いて、時間・変位・速度などの表し方を理解する。 【思考・判断・表現】 ・実験器具を正しく使用して加速度を測定し、データを解析することができるようになる。 ・ｘ－ｔグラフやｖ－ｔグラフを用いて、等加速度運動を表現する方法を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物体の運動について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	・速度が変化する様子を表す量として加速度を用いることを理解させる。 ・加速度の符号について、ベクトル量であることを踏まえ理解させる。 ・等加速度直線運動をｘ－ｔグラフやｖ－ｔグラフを含め理解させる。 ・等加速度直線運動を３本の式を使って表すことができることを理解させるとともに、具体的な状況で各物理量を算出させる。 ・自由落下運動や鉛直投げ下ろし運動の「時間」「速度」「変位」の関係式を理解させる。 ・水平投射運動や斜方投射運動について定性的に理解させる。	【知識・技能】 ・加速度の考え方を理解し、求めることができる。 ・等加速度運動の式を用いて、時間・変位・速度をそれぞれ求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・実験器具を正しく使用して加速度を測定し、データを解析することができる。 ・ｘ－ｔグラフやｖ－ｔグラフを用いて、等加速度運動を表現したり読み取ったりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物体の運動について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・提出期限内に内容が十分な提出物を提出している。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

2学期	B　様々な力とその働き 【知識・技能】 ・様々な力の特徴を理解する。 ・フックの法則を用いて、ばねの変位と弾性力の大きさをそれぞれ求められるようになる。 ・つり合いの関係にある力と作用反作用の関係にある力を判別できるようになる。 ・様々な状況下で運動方程式を用いて、物理量をそれぞれ求められるようになる。 【思考・判断・表現】 ・ｘ－ｔグラフやｖ－ｔグラフを用いて、運動を読み取り、表現する。 ・外力が働く場合の運動の様子を理解し、説明する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物体の運動と力について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	・力には「接触しているか」「離れているか」という２種類があることや力の三要素を理解させる。 ・重力について理解させる。 ・フックの法則やばね定数の意味を理解させる。 ・力の合成や分解を理解させ、２つの力を合成させたり、１つの力を任意の2方向へ分解させる。 ・力のつり合いを理解させ、成分表示させる。 ・作用反作用の法則を理解させ、２力とのつり合いと明確に区別させる。 ・慣性の法則を理解させる。 ・運動の法則を、運動方程式で表現させる。	【知識・技能】 ・様々な力の特徴を理解することができる。 ・フックの法則を用いて、ばねの変位と弾性力の大きさをそれぞれ求めることができる。 ・つり合いの関係にある力と作用反作用の関係にある力を判別することができる。 ・様々な状況下で運動方程式を用いて、物理量をそれぞれ求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・ｘ－ｔグラフやｖ－ｔグラフを用いて、運動を表現したり読み取ったりすることができる。 ・外力が働く場合の運動の様子を理解し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物体の運動と力について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・提出期限内に内容が十分な提出物を提出している。				18
	定期考査			○	○		1
	C　力学的エネルギー 【知識・技能】 ・仕事の物理的な意味や求め方を理解する。 ・エネルギーという概念を理解し、物理現象をエネルギーの観点から求める。 【思考・判断・表現】 ・仕事の概念を用いて、ものを運ぶ工夫や道具の使い方などを説明する。 ・エネルギーの概念を用いて、様々な物理現象を捉え、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物理的な仕事とエネルギーについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	・仕事の定義と意味を理解させる。 ・仕事率を理解さえ、求めさせる。 ・エネルギーは仕事をする能力として測定できることを理解させる。 ・運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの定義と意味を理解させる。 ・重力と弾性力による位置エネルギーを理解させる。	【知識・技能】 ・仕事の物理的な意味を理解し、求めることができる。 ・エネルギーという概念を理解し、物理現象をエネルギーの観点から求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・仕事の概念を用いて、ものを運ぶ工夫や道具の使い方などを説明することができる。 ・エネルギーの概念を用いて、様々な物理現象を捉え、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物理的な仕事とエネルギーについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・提出期限内に内容が十分な提出物を提出している。				16
	定期考査			○	○		1
3学期	D　熱 【知識・技能】 ・熱についての物理量を理解する。 ・エネルギーの保存と、熱と仕事の変換、熱的現象の不可逆性などを理解する。 【思考・判断・表現】 ・実験器具を正しく使用して熱に関する物理量を測定し、データを解析する。 ・仕事・熱・エネルギーの関係について、応用して考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物理的な仕事とエネルギーについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	・物質の三態をミクロな視点から理解させる。 ・絶対温度とセルシウス温度を理解させ、相互に換算させる。 ・物質の温度の変化しにくさを比熱容量（比熱）ということを学習させ、比熱を用いた計算をさせる。 ・内部エネルギーについて理解させる。 ・熱力学第一法則を理解させ、簡単なエネルギーのやり取りについて計算させる。 ・熱を仕事に変えることができること（装置：熱機関）を理解させる。 ・不可逆変化について、例を挙げて説明させる。	【知識・技能】 ・熱についての物理量を理解することができる。 ・エネルギーの保存と、熱と仕事の変換、熱的現象の不可逆性などを理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・実験器具を正しく使用して熱に関する物理量を測定し、データを解析することができる。 ・仕事・熱・エネルギーの関係について、応用して考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物理的な仕事とエネルギーについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・提出期限内に内容が十分な提出物を提出している。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画

高等学校 令和７年度（２学年用） 教科：保健体育　科目：体育

教　科：　保健体育　　科　目：　体育　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A 組～　G 組

教科担当者：武富・山中

使用教科書：（ なし　　）

教科　　保健体育　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 運動特性に応じた技能、社会生活における健康・安全について理解し、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、解決に向けて思考、判断し他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 継続した運動実践、健康の保持増進と体力の向上、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　体育　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通し、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性を理解し身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通じ、公正に取り組み協力し、自己の責任を果たし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	球技（ゴール型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な作戦考案と試合運営	バスケットボール ・個人的技術（シュート、パス、ドリブル） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 役割に応じたボール操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	4
	球技（ネット型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な作戦考案と試合運営	バレーボール ・個人的技術（サーブ、パス、スパイク、レシーブ） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 役割に応じたボール操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	6
	水泳 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な取組み、安全確保	クロール ・手足の動き、呼吸法、測定 平泳ぎ ・手足の動き、呼吸法、測定	【知識・技能】 手足の動きや呼吸を安定させて泳げる。 【思考・判断・表現】 泳法などの課題解決を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 技術の取得に積極的である。	○	○	○	12
2学期	水泳 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な取組み、安全確保	バタフライ ・手足の動き、呼吸法、測定 背泳ぎ ・手足の動き、呼吸法、測定	【知識・技能】 手足の動きや呼吸を安定させて泳げる。 【思考・判断・表現】 泳法などの課題解決を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 技術の取得に積極的である。	○	○	○	8
	球技（ゴール型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な試合運営	サッカー ・個人的技術（シュート、パス、ドリブル） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 局面に応じたボール操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	9
	陸上競技 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な取組み、安全確保	ハードル走 ・助走と跳躍技術 ・測定方法 ターボジャブ投げ ・助走と投擲動作	【知識・技能】 運動を継続する意義を理解している。 【思考・判断・表現】 課題解決に向けた工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ペース配分などを主体的に学んでいる。	○	○	○	9 合計 26
3学期	球技（ネット型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な試合運営	バドミントン ・個人的技術（サーブ、ドロップ、ハイクリアー、スシュ、レシーブ） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 局面に応じたラケット操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	8
	体つくり運動 【知識及び技能】 心身の状態への気づき 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な取組み、安全確保	持久走 ・心拍数の測り方 ・自身に合う走り方 ・適切なペース配分	【知識・技能】 運動を継続する意義を理解している。 【思考・判断・表現】 課題解決に向けた工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ペース配分などを主体的に学んでいる。	○	○	○	8 合計 64

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和７年度（2学年用） 教科：保健体育 科目：保健

教 科： 保健体育　　科 目： 保健　　単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組

教科担当者： 池上・武富

使用教科書： （ 大修館 現代高等保健体育701 ）

教科 保健体育 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 生涯を通じた社会生活における健康・安全について理解し、知識を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じた自他や社会の課題を発見し、解決に向けて思考、判断し他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 継続した運動実践、健康の保持増進と体力の向上、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、知識を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	生涯を通じる健康 【知識及び技能】 国民の健康課題への理解 【思考力、判断力、表現力等】 国民の健康課題への思考や判断 【学びに向かう力、人間性等】 学習への主体的な取り組み	「ライフステージと健康」 「思春期と健康」 「性意識と性行動の選択」 「妊娠・出産と健康」 「避妊法と人工妊娠中絶」	【知識・技能】 国民の健康課題について理解している 【思考・判断・表現】 国民の健康課題について思考、判断している 【主体的に学習に取り組む態度】 国民の健康課題について主体的に学んでいる	○	○	○	5
	生涯を通じる健康 【知識及び技能】 健康の保持増進への理解 【思考力、判断力、表現力等】 健康の保持増進への思考や判断 【学びに向かう力、人間性等】 学習への主体的な取り組み	「結婚生活と健康」 「中高年期と健康」 「働くことと健康」 「労働災害と健康」 「健康的な職業生活」	【知識・技能】 健康の保持増進について理解している 【思考・判断・表現】 健康の保持増進について思考、判断している 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の保持増進について主体的に学んでいる	○	○	○	5
	定期考査			○	○		
2学期	生涯を通じる健康 【知識及び技能】 薬物や精神疾患への理解 【思考力、判断力、表現力等】 薬物や精神疾患への思考や判断 【学びに向かう力、人間性等】 学習への主体的な取り組み	「薬物乱用と健康」 「精神疾患の特徴」 「精神疾患の予防」 「精神疾患からの回復」	【知識・技能】 薬物や精神疾患について理解している 【思考・判断・表現】 薬物や精神疾患について思考、判断している 【主体的に学習に取り組む態度】 薬物や精神疾患について主体的に学んでいる	○	○	○	6
	生涯を通じる健康 【知識及び技能】 感染症などへの理解 【思考力、判断力、表現力等】 感染症などへの思考判断 【学びに向かう力、人間性等】 学習への主体的な取り組み	「大気汚染と健康」 「感染症の予防」 「性感染症・エイズとその予防」 「健康に関する意思決定・行動選択」 「健康に関する環境づくり」	【知識・技能】 感染症などについて理解している 【思考・判断・表現】 感染症などについて思考、判断している 【主体的に学習に取り組む態度】 感染症などについて主体的に学んでいる	○	○	○	6
	定期考査			○	○		
3学期	安全な社会生活 【知識及び技能】 交通や応急手当への理解 【思考力、判断力、表現力等】 交通や応急手当への思考判断 【学びに向かう力、人間性等】 学習への主体的な取り組み	「事故の現状と発生要因」 「安全な社会の形成」 「交通における安全」 「応急手当の意義とその基本」 「日常的な応急手当」 「心肺蘇生法」	【知識・技能】 交通や応急手当について理解している 【思考・判断・表現】 交通や応急手当について思考、判断している 【主体的に学習に取り組む態度】 交通や応急手当について主体的に学んでいる	○	○	○	6 合計 28
	定期考査			○	○		

年間授業計画

高等学校 令和7年度（２学年用） 教科　外国語　　科目　英語コミュニケーションⅡ

教　科：　外国語　　科　目：　英語コミュニケーションⅡ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　２学年　A　組～　G　組

教科担当者：（A組：友金）　（B組：甘利）　（E組：甘利）　（F組：友金）　（G組：友金）

使用教科書：（ VISTA English Communication Ⅰ・Ⅱ　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】英語を読み、聞き、話し、書くうえで必要な文法、構文や語彙を身につける。また、言語背景にある文化や成り立ちについて知り、語学を切り口に日本以外のの文化や世界への興味・関心を醸成する。

【思考力、判断力、表現力等】英語を読み、聞き、話し、書く中で適切な表現を知り、活用することができる。また題材に即した内容で、自分の考えを表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】未知の言語に対して間違いを恐れずに取り組むことができ、また語学がもつ曖昧さや複雑さに柔軟に対応し、他者との関わりに主体的で前向きな姿勢で臨んでいる。

科目　英語コミュニケーションⅠ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の５領域を伸ばしていくうえで必要な文法事項を理解し、かつ必要な語彙を十分に身につけている。	まとまった文章を読んだり、学んだ文法事項や英単語から適切なものを選び組み合わせて単文を作る能力、また題材や指示に従って、まとまりのある文章を論理的に組み立てることができる能力を養う。	他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 英語の文の現在完了形を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解したbe動詞、一般動詞を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるよう に意識しながら文章を書くなど、人	Lesson 6 Machu Picchu ・世界遺産「マチュ・ピチュ」の魅力と不思議を知る。 ・現在完了形を理解する。	○	○	○		○	【知識及び技能】 英語の文のbe動詞、一般動詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解したbe動詞一般動詞を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けている。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、主体的かつ協働しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○			○		○	○		1
	【知識及び技能】 英語の受動態を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した一般動詞過去形を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるよう に意識しながら文章を書くなど、人	Lesson 7 Artificial Intelligence ・AI(人口知能)にできることとできないことを、現在の技術から学ぶ。 ・受動態を理解する。	○	○		○	○	【知識及び技能】 英語の一般動詞過去形を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した一般動詞過去形を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働しようとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○			○		○	○		1
2学期	【知識及び技能】 英語の関係代名詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 進行形を用いてスポーツや過去の行動について相手に伝えられることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの面白さを再認識することができる。	Lesson 8 Is There a Santa Claus? ・「サンタクロースは本当にいるのか」という子どもからの質問について考える。 ・関係代名詞を理解する。	○	○		○	○	【知識及び技能】 英語の進行形を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 進行形を用いてスポーツや過去の行動について相手に伝得ようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの面白さを再認識しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○			○		○	○		1
	【知識及び技能】 英語の名詞を修飾する分詞・関係副詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞や動詞、動名詞を使い分けながら自分の思いを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会におけるピクトグラムの	Lesson 9 Kids' Guernica ・ピカソの絵画「ゲルニカ」と「キッズゲルニカプロジェクト」について知る。 ・名詞を修飾する分詞・関係副詞を理解する。	○	○	○		○	【知識及び技能】 英語の助動詞、動名詞を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞や動詞、動名詞を使い分けながら自分の思いを表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会におけるピクトグラムの役割を理解しようとしている。	○	○	○	25
	定期考査			○			○		○	○		1

3学期	【知識及び技能】 英語の比較級を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞の意味を使い分けながら自分の思いを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 世界で活躍する人物や自然環境について考えを深めることができる。	Lesson 10 EthicalFashion ・エシカルファッションとエシカルな考え方について学ぶ。 ・比較級を理解する。	○	○	○		○	【知識及び技能】 英語の不定詞を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞の意味を使い分けながら自分の思いを表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 世界で活躍する人物や自然環境について考えを深めようとしている。	○	○	○	22
	定期考査			○			○		○	○		1 合計 105

年間授業計画

高等学校 令和7年度（２学年用） 教科　外国語　科目　英語演習Ⅰ

教　科：２　　科　目：　英語演習Ⅰ　　単位数：　２　単位

対象学年組：第　２学年

教科担当者：友金　藍子

使用教科書：（ プレップイングリッシュリーディング（旺文社）　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】英語を読み、聞き、話し、書くうえで必要な文法、構文や語彙を身につける。また、言語背景にある文化や成り立ちについて知り、語学を切り口に日本以外のの文化や世界への興味・関心を醸成する。

【思考力、判断力、表現力等】英語を読み、聞き、話し、書く中で適切な表現を知り、活用することができる。また題材に即した内容で、自分の考えを表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】未知の言語に対して間違いを恐れずに取り組むことができ、また語学がもつ曖昧さや複雑さに柔軟に対応し、他者との関わりに主体的で前向きな姿勢で臨んでいる。

科目　英語演習Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の５領域を伸ばしていくうえで必要な文法事項を理解し、かつ必要な語彙を十分に身につけている。また、あるトピックについて英文及びパワーポイントなどを使用し、プレゼンテーションができる能力を養う。	まとまった文章を読んだり、学んだ文法事項や英単語から適切なものを選び組み合わせて単文を作る能力、また題材や指示に従って、まとまりのある文章を論理的に組み立てることができる能力を養う。	他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	【知識及び技能】 英語の文の現在完了形を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解したbe動詞、一般動詞を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるよう に意識しながら文章を書くなど、人	Lesson １What did your dog eat? ・現在完了形を理解する。	○	○	○		○	【知識及び技能】 英語の文の現在完了を理解し、実際に読んだり書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した現在完了を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けている。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、主体的かつ協働しようとしている。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 英語の動名詞、名詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した一般動詞過去形を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるよう に意識しながら文章を書くなど、人	Lesson2 Teenagers today Lesson 3The latest fashion ・複数形の作り方・不可算名詞・代名詞の用法を理解する。	○	○		○	○	【知識及び技能】 英語の名詞を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した名詞を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○			○		○	○		1
２学期	【知識及び技能】 英語の関係代名詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 進行形を用いてスポーツや過去の行動について相手に伝えられることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの面白さを再認識することができる。	Lesson４ig Nobel Prize Lesson５ A funny Mistake ・関係代名詞を理解する。	○	○		○	○	【知識及び技能】 英語の関係詞を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 関係詞を用いて科学について相手に伝えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 科学の面白さを再認識しようとしている。	○	○	○	8
				○			○		○	○		1
	【知識及び技能】 英語の名詞を修飾する分詞・受動態を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞や受動態を使い分けながら自分の思いを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会における英語の役割を理解できる。	Lesson 6 Droodle Lesson 7British English and American English ・名詞を修飾する分詞・受動態を理解する。	○	○	○		○	【知識及び技能】 英語の分詞、受動態を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞、受動態を使い分けながら自分の思いを表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会における英語の役割を理解しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○			○		○	○		1

3学期	【知識及び技能】 英語の比較を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞の意味を使い分けながら自分の思いを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他国の文化について考えを深めることができる	Lesson 8 Thanksgiving day and Black Friday Lesson 9 Too kind ? ・不定詞、比較を理解する。	○	○	○		○	【知識及び技能】 英語の不定詞、比較を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞の意味を使い分けながら自分の思いを表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 他国の文化について考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	98			○			○		○	○		1 合計 48

年間授業計画

高等学校 令和7年度（２学年用） 教科　芸術　　科目 書道Ⅱ

教　科： 芸術　　科　目： 書道Ⅱ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組

教科担当者：（A・B・E・F・G組：坂本みどり）

使用教科書：書道Ⅱ（東京書籍）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】書道Ⅰの基本をふまえ、さらに芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】書道Ⅰの基本をふまえ、さらに創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　書道Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式，多様性などについて幅広く理解するとともに，書写能力の向上を図り，書の伝統に基づき，効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 ・各課題説明を聞き、理解し、集中して取り組み表現することができているか。 ・江戸書道展、全国公募千字文大会の出品作品において真剣に向き合い、心を込めて作品を仕上げることができているか。 ・隷書用筆の特性を理解し、用筆法（筆使い）の特徴をとらえ表現することができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・江戸書道展出品において、文字は高校生として適切なものを選文し、適切に表現できているか。 ・与えられた課題（全国公募千字文大会の課題）を理解し、表現できているか。 ・隷書の筆使い（起筆、終筆など）を理解し、特徴ある字形を表現することができているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・毎時間に取り組む課題を時間内に仕上げ提出することができている。 ・丁寧に真剣に文字と向き合い表現することができているか。 ・自己表現の追求の為、他者（友だち）との会話、出歩きをせずに課題に取り組む（居眠りも含む）ことができているか。	・指導事項 ・教材	○	○	○		【知識・技能】 ・説明を聞き、理解し、集中して取り組みを表現することが理解できている。 ・各書道展の課題に真剣に取り組み、作品を仕上げることができている。 ・隷書の用筆法を理解し、特徴をとらえ、表現することができている。 【思考・判断・表現】 ・出品作品において、高校生として適切な選文と表現ができている。 ・課題内容を理解し、表現することができている。 ・隷書の筆使いを理解し、特長ある字形を表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・毎時間に取り組む課題が時間内に仕上げることができ、提出できている。 ・丁寧に真剣に文字と向き合い表現することができている。 ・時間内、おしゃべり、出歩き、居眠りなどすることなくしっかり作品（課題）に取り組むことができている。	○	○	○	20
2学期	【知識及び技能】 ・各課題説明を聞き、理解し、集中して取り組み表現することができているか。（臨書、創作作品） ・刻字の学習（木材又は石） 木又は石に文字を刻り、調和良く作品を仕上げ表現できているか。 ・一年生で学習した楷書、行書、仮名の書体において、更に知識技能（用筆法）を高め表現できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各課題の歴史的な価値、意義を理解し、紙面・木面・石面などにバランスよく表現できているか。 ・刻字において刀法を理解し、運刀（引き刀、押し刀）を使い、自分の思うような刀の使い方ができているか。 ・刻字（または篆刻）において、木面・石面に調和よく刻すことができているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・毎時間に取り組む課題を時間内に仕上げ提出することができている。 ・丁寧に真剣に文字と向き合い表現することができているか。 ・自己表現の追求の為、他者（友だち）との会話、出歩きをせずに課題に取り組む（居眠りも含む）ことができているか。	・指導事項 ・教材	○	○	○		【知識・技能】 ・各課題説明を理解し、集中して作品に取り組み表現することができている。 ・木材又は石材に文字を刻り、刀法及び文字が十分に調和良く表現されている。 ・一年生で学習した楷書、行書、仮名の書体において更に知識を深め十分に表現できている。 【思考・判断・表現】 ・各課題の歴史的な価値・意義を理解し、紙面・木面・石面などにバランスよく表現できている。 ・刻字において、刀法を理解し、運刀を自分の思うような刀法ができている。 ・刻字（または篆刻）において、木面・石面に調和よく刻すことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・毎時間に取り組む課題が時間内に仕上げることができ、提出できている。 ・丁寧に真剣に文字と向き合い表現することができている。 ・時間内、おしゃべり、出歩き、居眠りなどすることなくしっかり作品（課題）に取り組むことができている。	○	○	○	35

3学期	C仮名、創作 【知識及び技能】 ・各課題説明を聞き、理解し、集中して取り組み表現することができているか。（臨書、創作作品） ・写経をすることにより小筆の用筆法を学習し、枠内にバランスよく文字を収めることができているか。 ・一年のまとめとして書く創作作品が、紙面に調和のとれた文字として表現できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・伝統的なお経を学ぶことにより、経典の意義、お経を書くことの意味を理解できているか。 ・仮名の名品を鑑賞し、古筆の美しさを理解し、臨書することにより線質の美しさと字形を表現することができているか。 ・創作作品では、その作品に適した書体・筆法で表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・毎時間に取り組む課題を時間内に仕上げ提出できているか。 ・丁寧に真剣に文字と向き合い表現することができているか。 ・自己表現の追求の為、他者（友だち）との会話、出歩きをせずに課題に取り組む（居眠りも含む）ことができているか。	・指導事項 ・教材	○ ○ ○		【知識・技能】 ・日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立と変遷について理解できている。 ・写経をすることにより小筆の用筆法を学習し、枠内にバランスよく文字を収めることができている。 ・一年のまとめとして書く創作作品が、紙面に調和のとれた文字として表現できている。 【思考・判断・表現】 ・伝統的なお経を学ぶことにより、経典の意義、お経を書くことの意味を理解できている。 ・仮名の名品を鑑賞し、古筆の美しさを理解し、臨書することにより線質の美しさと字形を表現することができている。 ・創作作品では、その作品に適した書体・筆法で表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・毎時間に取り組む課題が時間内に仕上げることができ、提出できている。 ・丁寧に真剣に文字と向き合い表現することができている。 ・時間内、おしゃべり、出歩き、居眠りなどすることなくしっかり作品（課題）に取り組むことができている。	○	○	○	15 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（２学年用） 教科　芸術　　科目 美術Ⅱ

教　科：芸術　　科　目：美術Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A 組～　G 組

教科担当者：（古川　仁史）

使用教科書：（ 美術Ⅱ（光村図書出版著）　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　美術Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり，価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 ①「美の秩序 構成の基本」各項目において構成を理解し、的確な表現が出来ている。 ②「混色の学習」的確な混色、筆によるていねいな塗りが出来ている。 ③ポスター制作において、説明された内容をよく理解し、主題に沿った内容を的確に生かしたアイデアスケッチから着彩、完成まで描くことが出来る	・教員、生徒自己紹介。授業を受けるに当たっての諸注意。 ・１年間の授業予定等。 ・画面構成の重要さを理解させる。 ・混色して描くことの重要さを理解させる・八つ切りケント紙に作成 ・資料集め、画面構成、文字レイアウト等を考える・配色への考慮、筆の使い分け、ぬりを考える ・配色への考慮、筆の使い分け、ぬりを考える	○	○	○		【知識及び技能】 ①課題説明をよく理解し、表現方法を工夫して、創造的に描くことが出来る。 ②課題説明をだいたい理解し、表現方法を概ね描くことが出来た。 ③課題説明を理解しておらず、表現方法の工夫も考えず、創造的にも描くことが出来なかった。	○			20
	【思考力、判断力、表現力等】 ①ポスター制作において、説明された制作工程を理解し、工程通りに「主題」を考え、それを表現することが出来る。②ポスター制作において、内容をよく理解し、主題に沿った「文字と絵の配置」と「絵の構成」を考え表現することが出来る。 ③ポスター制作「着彩」において、説明された「文字と絵の明度差」、「混色の重要」等を理解して制作し、作品で表現することが出来る						【思考力、判断力、表現力等】 ①ポスター制作において、説明された制作工程を理解し、工程通りに「主題」を考え、それを表現することが出来る。 ②説明された課題の制作工程を理解し、工程通りに主題を考え、それを生かして制作することが出来ている。 ③説明された課題の制作工程を理解しておらず、工程通りに主題及び、それを生かして制作することも出来ていない。		○		
	【主体的に学習に取り組む態度】 ①美術への興味、関心があり、どんな課題でも楽しんで制作に取り組もうとしている。 ②授業全般、教員の説明をよく聞き、集中して、意欲的に制作に取り組もうとしている。						【主体的に学習に取り組む態度】 ①美術への興味、関心があり、どんな課題でも楽しんで制作に取り組もうとしている。 ②美術への興味、関心が少しあり、課題では概ね楽しんで制作に取り組んでいた。 ③美術への興味、関心がなく、ほとんどの課題で、集中して制作している様子がみられない。			○	

2学期	【知識及び技能】 ①「モダンテクニック」各項目において構成を理解し、的確な表現が出来ている。 ②各課題で的確な技法表現が出来ている。	様々な技法・モダンテクニック	○	○	○	【知識及び技能】 ①課題説明をよく聞き、「木の特性」、「鏡の配置」を理解し、アイデアスケッチを大体描くことが出来る。 ②指示に従い、彫刻刀の使い方をほぼ理解しているが、的確な制作は今一歩。 ③課題内容を概ね理解し、大体着彩することが出来る。	○			35
	【思考力、判断力、表現力等】 ①木彫課題では、課題説明をよく聞き、制作工程を理解し、工程通りに「主題」を考え、それを生かして制作することが出来る。 ②木彫課題「アイデアスケッチ」では、課題説明をよく聞き、「鏡の配置」を理解して、構成することが出来る。					【思考力、判断力、表現力等】 ①木彫課題では、課題説明をよく聞き、制作工程を理解し、工程通りに「主題」を考え、それを生かして制作することが出来る。 ②木彫課題「アイデアスケッチ」では、課題説明をよく聞き、「鏡の配置」を理解して、構成することが出来る。		○		
	【主体的に学習に取り組む態度】 ①美術への興味、関心があり、どんな課題でも楽しんで制作に取り組もうとしている。 ②授業全般、教員の説明を よく聞き、集中して、意欲的に制作に取り組もうとしている。					【主体的に学習に取り組む態度】 ①美術への興味、関心が少しあり、課題では概ね楽しんで制作に取り組んでいた。 ②授業全般、教員の説明を概ね聞き、時間内大体集中して、制作に取り組んでいた。			○	
3学期	【知識及び技能】 ①彫金制作課題「動植物」では、課題説明をよく聞き、「銅の金属特性」、「人体と植物の特性」、を理解し、アイデアスケッチを描くことが出来る。 ②彫金制作課題では、アイデアスケッチに基づいて、的確に金属銅の特性を生かして作成出来た。 ③彫金制作課題では、課題説明をよく聞き、粘土による的確な肉付けと着彩が出来た。	・銅の性質について理解する。 ・動植物の形態について理解する。 ・制作工程について理解する。 ・各制作工程で使用する用具・材料を理解する。	○	○	○	【知識及び技能】 ①課題説明をよく聞き、「彫金制作の決まり」、「動植物の特性」、「プロポーション」を理解し、アイデアスケッチを描くことが出来る。 ②彫金制作課題では、アイデアスケッチに基づいて、正確に心材を作成出来た。 ③フィギア制作課題では、課題説明をよく聞き、粘土による的確な肉付けと着彩が出来た。	○			15
	【思考力、判断力、表現力等】 ①彫金制作課題では、課題説明をよく聞き、制作工程全般を理解し、アイデアスケッチから完成まで考え。計画的に制作することが出来た。 ②彫金制作課題では、他にない独自の表現で制作することが出来た。					【思考力、判断力、表現力等】 ①彫金制作課題では、課題説明をよく聞き、制作工程全般を理解し、アイデアスケッチから完成まで考え。計画的に制作することが出来た。 ②彫金制作課題では、他にない独自の表現で制作することが出来た。		○		
	【主体的に学習に取り組む態度】 ①美術への興味、関心があり、どんな課題でも楽しんで制作に取り組もうとしている。 ②授業全般、教員の説明を概ね聞き、時間内大体集中して、制作に取り組んでいた。					【主体的に学習に取り組む態度】 ①美術への興味、関心が少しあり、課題では概ね楽しんで制作に取り組んでいた。 ②授業全般、教員の説明書かず、集中せず、意欲もなく制作していた。			○	合計 70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（２学年用） 教科　家庭科　　科目 家庭基礎

教　科： 家庭科　　科　目： 家庭基礎　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組

教科担当者：（A組：石原/濱田）（B組：石原/濱田）（E組：石原・伊藤）（F組：石原/濱田）（G組：石原・伊藤）

使用教科書：（ 実教出版 図説 家庭基礎７０７ ）

教科 家庭科　　の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ，家族・家庭の意義，社会とのかかわりについて理解を深め，それらにかかわる技能を身につけている

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだし、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，自分や家庭，地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 結婚,家族・家庭の意義や機能について理解する。家族に関する法律の理念や背景，改正点について理解する。 法律は自分たち一人ひとりの認識にもとづく社会の要請を受けて検討,改正されていくことを理解する。これからの自分自身と社会のあり方を展望する。	自分らしい生き方と家族 現代の家族 家族にかかわる法律 高齢者のサポート 高齢社会を支える仕組み 社会保険制度	【知識・技能】 結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解できる。家族に関する法律を理解できる。高齢者を支える仕組みを理解できる 【思考・判断・表現】 ・図表などから家族の形、家庭のあり方や役割、また時代とともに変化した背景、法律、高齢者を支える仕組みについて読みとることができ、現在の家族・家庭のあり方や役割について考えを深め、表現することができる。自助共助公助の仕組みを読み取ることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について、自分とどうかかわっているのか、興味・関心を持とうとしている。高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかかわろうとしている。	○	○	○	12
	B 衣生活と健康 被服製作（和帽子製作）を通して、構成や基礎的な縫製技術を身につける。暮らしの中での衣服素材の性能と改善について学ぶ。　衣服が持つ機能や安全性などについて学ぶ。 私たちの衣生活が環境や世界とどのようにつながっているのかを理解する。	被服製作 構造とデザイン 衣服素材と特徴 ［使用教材・道具］ ミシン、アイロン、裁縫セット 和帽子製作用教材	【知識・技能】基本的な道具を使い被服製作することができる。衣服の素材の種類や特徴について理解できる。 【思考・判断・表現】 被服製作において、構成の理解と、道具の取り扱いの理解ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 被服製作実習において、積極的に取り組もうとする。ものづくりへの関心意欲が高まる。	○	○	○	12
	定期考査　１学期末考査			○	○		1
2学期	C 食生活と健康 調理実習を中核にし、食品の調理上の特性や栄養、安全、適切な調理法を学ぶ。バランスの良い食事と健康について理解する。 食生活におけるマナーを身に付ける	調理の基本 調理実習	【知識及び技能】 食事の意義や役割、食生活をとりまく環境などについて、現代の食生活の課題が理解できる。栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。食中毒の予防法や、安全な食品、マナーについて理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決に向けての判断ができる。調理実習において、作業の流れを判断しながら取り組むことができた。 【主体的に学習に取り組む態度】自分自身の食生活について関心を持つとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点を持って、知識を深めようとしている。調理実習において、積極的に参加し、取りくんだ。	○	○	○	12
		食生活と健康 五大栄養素 食品の衛生 食事摂取基準		○	○	○	15
	定期考査　２学期末考査			○	○		1

3学期	D　子どもの生活と保育	子どもとは 子どもの発達 子どもの生活	【知識及び技能】 　子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけた。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの世界について、自分の子どものころを思い起こしながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、積極的に子どもとかかわりながら、理解しようとする。	○	○	○	8
	E　生活における経済の計画 一人暮らしを想定し、適切な住居選びと契約、生活費の立て方と消費契約，多様な販売方法や支払い方法について学ぶ。	暮らしと経済 消費生活の現状と課題 住まいの計画と賃貸契約	【知識及び技能】 　消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えを持ち、判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的に取り組もうとしている	○	○	○	8
	定期考査　なし 　　授業内で理解度を確認す			○	○		1
							合計 70